

第 19 回旭川流域連絡協議会（本会）議事録

日 時：平成 18 年 2 月 27 日（月）14:00～15:30

場 所：美咲町役場 3 階大会議室

参加者：岡山市、瀬戸町、赤磐市、吉備中央町、建部町、久米南町、美咲町、真庭市、新庄村、鏡野町、
岡山県備前県民局、岡山県美作県民局、岡山県土木部河川課、国土交通省岡山河川事務所

1．開会挨拶 会長 奥村美咲町長

皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

平成の大合併から約 1 年が経ち、まちの状況や仕組みも大きく変わり、制度上の様々な難しさもありますが、地域住民の安心・安全に関してお互い行政として努力している状況だと思います。

本会議は、災害から、地域住民の安全を守っていく重要な連絡会議であると理解しております。本日は国、県からも出席いただき、ともに力を合わせ、目標達成へ取り組んでいける有意義な場にしていきたいと考えております。

本日の会議では、平成 17 年度決算、平成 18 年度予算案等についてご審議していただきたいと思っております。また、平成 16 年度から 17 年度にわたってのモデル地域での活動の報告、平成 18 年度からの自主防災組織の活動計画等についても皆様にご審議いただき、この会議を有意義に進めたいと考えております。

限られた時間でございますが、平素からのお考え等について積極的に発言していただくようお願いして、ご挨拶に替えさせていただきます。

2．議事

討議事項

配布資料の議事次第に基づき、以下の討議事項について会議を行なった。

1) 予算関係

(1) 平成 17 年度決算報告（案）について

- ・平成 17 年度決算報告を説明。

監事である岡山県土木部棕野河川課長より会計監査報告を行い、了承。

(2) 平成 18 年度活動計画及び予算案

- ・平成 18 年度年間活動計画（案）を説明。
- ・平成 18 年度予算について、支出計画（案）を説明。
- ・平成 18 年度協議会負担金割合について、負担金対象額は平成 17 年度と同様 30 万円とする。

内訳は河川管理者（国 10 万円、県 5 万円、計 15 万円）、流域内市町村（15 万円）とすること（第 18 回協議会承認事項）を報告。

以上の計画及び予算案について了承。

2) 地域防災体制構築の取組み 活動報告書「防災マップ編」について

- ・地域防災体制構築の取組み報告書として、平成 16～17 年度の成果を暫定版としてとりまとめた「防災マップ編」について、概要を説明。
- ・今年度中に、「防災マップ編」についてご意見をいただき、それを反映させて、来年度市町村に配布する方針を説明。早急に使用したい場合は、暫定版としての配布も可能。

【 質 疑 】

(岡山河川事務所長)

防災マップガイドの配布について、何部程度を予定しているのか事務局より補足説明願います。

(事務局)

予算 10 万円の範囲内で必要部数を流連自治体へ配布する予定である。ただし、地元への配布など、より多くの部数が必要な場合は、データでの配布や白黒コピーでの配布等必要に応じて柔軟な対応を考えている。

(会長(美咲町))

現在のモデル地区は 3 地区であるが、今後の方針について説明いただきたい。

(事務局)

今後、モデル地域を各市町村から選定していただき、自主防災組織を設立する地域、マップを作成する地域、マップを使って、災害避難訓練を実施する地域等、様々な活動を行い、それに伴って様々なノウハウを取りまとめていく方針である。

(会長(美咲町))

モデル地域として取り組まれた建部町さん、真庭市さんでの感想、ご意見を伺いたい。

(建部町)

建部町では、モデル地域での防災マップ作成に加え、岡山県が進める自主防災組織に関する事業に対して、29 地区が活動を行なっている。しかし、実際は高齢化等の問題があり、順調に進んでいないのが現状である。

平成 17 年度には、建部町版の防災マップを作成したが、河川だけでなく、土砂災害等、様々な災害に対応する必要があり、縮尺が小さいなどマップへの批判もあるため、再度マップを作り直す方針である。

今後は、流域連絡協議会の取り組みで作成した川口地区の防災マップと同様な形で、対応していきたいと考えている。

(真庭市)

本市では、自主防災地域の候補をいくつか考えているが、本市は中流から上流へ非常に範囲が広いので、来年度以降、数箇所モデル地域を挙げて取組みを活性化させたいと考えている。

3) 自主防災組織モデル地域拡大の活動計画について

- ・現在の3モデル地域の育成・強化の継続に加え、平成17年度末までに、新たに新規モデル地域を1自治体につき、1地区選定し、流域全体へ拡大していく方針を説明。新旧モデル地区の代表者、流域連絡協議会のメンバーが共に、活動や取り組み等、意見交換を行なっていく方針を説明。
- ・平成18年度の具体的活動計画について説明。

4) 情報提供

- ・別冊資料-2 旭川流域の特徴と課題について概要を説明。
- ・別冊資料-3 身近な水環境の全国一斉水質調査2005について概要を説明。
- ・別冊資料-4 洪水ハザードマップ作成の手引きについて説明。
- ・旭川源流の碑切り出しについて説明。
- ・岡山三川水質汚濁防止連絡協議会(臨時幹事会)について説明。
- ・旭川水系水利用協議会(仮称)について説明

(岡山河川事務所長より、補足説明)

旭川水系水利用協議会(仮称)は、来年度設立予定であるが、昨年度設立した吉井川水系水利用協議会を例にすると、メンバーについては利水者中心になると思われる。自治体におかれてもメンバーをご検討いただければ、来年度のスムーズな設立ができるので、よろしくお願ひしたい。

- ・岡山河川事務所 広報戦略会議チームについて説明。
- ・別冊資料-5岡山県からの情報提供

県内の風倒木の復旧状況、風倒木の有効利用状況、国道313号の復旧状況について岡山県より説明。

【 質 疑 】

(岡山市)

有効利用されている風倒木の木はどこかにストックしているのか。

(岡山県)

地元の森林組合に所要量を依頼して、森林組合が集積している各基地まで受け取り側が取りに行き、施工現場まで運搬しているのが現状である。

5) その他

- ・第18回幹事会、本会、第19回幹事会議事録、規約、委員会名簿について添付資料を紹介
- ・旭川に関わる古地図、写真等の収集について、情報提供を事務局より依頼。

3. 閉会挨拶

岡山県土木部河川課 棕野課長

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございました。先ほどご紹介した災害復旧を含め、災害対策に関しては、県としても積極的に取り組みを展開している状況であります。これを契機に次回協議会にも、県の様々な施策について情報提供できればと考えています。

一例としては、災害情報をどのようにわかりやすく伝達するかについて取り組みを行っており、その成果も出始めている段階ですので、皆様へ情報提供したいと思います。今後は、流域の自治体のご意見を取り入れてより充実した河川行政に努めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

国土交通省岡山河川事務所 浦上事務所長

本日は長時間にわたり協議いただきありがとうございました。今回、防災特集を掲載した、岡山河川事務所の広報紙「おかやま河川だより」を配布しております。平成 16 年度の大きな災害を受けて、地域の方も、防災に対する意識が高まってきております。今後も多くの方に繰り返しこのような情報をご提供する必要があると考えております。また、河川だよりに付けております、アンケートでも、すでに、加古川等からも様々な声が返ってきており、そのような声を受け止め、対応し、防災等に関して、さらに深いご理解をいただく方針であります。

近年では、行政評価局が県南にてヒアリングやアンケートという形で情報収集をされています。また、岡山河川事務所や岡山県にも取り組みに対する問い合わせがきており、本協議会は先進的な取り組みを行なっているということで紹介をさせていただいております。そのため、本協議会に対しても、さらに期待が高まっていくと思われまますので、皆様のご協力をいただきながら活動を進めていきたいと考えております。本日は、ありがとうございました。

以 上